

経木を使ったE C Oモバイルの開発

-創業180年の伝産企業が新市場に挑戦-

秋山 正*1), 信田喜代子、田中 俊和*2)

1. はじめに

江戸時代から木具職人により作られていた折箱材料の経木を使った新しい木工教材の開発商品化を行なった。多くの人に日本人が昔から身近な材料として触れてきた木の温もり、優しさ、素朴さ、香り、安らぎなどを体験しながら日本の「木の文化」と地球の環境保護を学ぶことのできる木工教材を目標として商品化した。

2. 内 容

① 経木材（エゾ松）の特徴（薄い・曲げやすい・軽い）を生かしたデザインアイテム（魚類・海獣類・鳥類）の作成と商品アイテム（モバイル）の選定。

※ 経木はエゾ松の間伐材や建築材等に製材した時の端材、熟齢木等を使用した包装材で計画的に植林すれば、再生紙や再生ペットボトルとは異なり、自然循環型の素材と言える。このため、開発商品は経木材の自然循環をアピールするため、きれいな海と澄んだ空をイメージした魚類・海獣類・鳥類をデザインアイテムとし、E C Oを全体のテーマとした商品展開を図った。

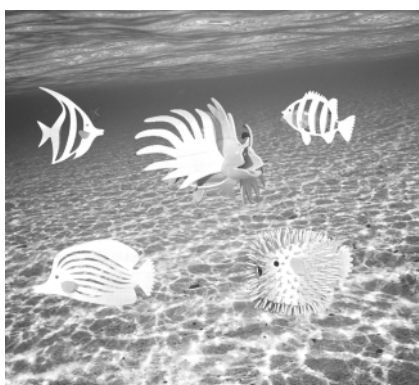


写真 1. 海をテーマとした「魚海」



写真 2. 空をテーマとした「空鳥」

② 試作教材の適正調査のため、木工教室を実施(小学生高学年対象)し適正を検証した。

③ 試作品の消費者の反応を調査するため、製品アイテムを変えて製品公募展に出品した。

3. 効果・結果

- 自然の素材に触れて、海や空の地球環境について考えることができる商品とした。
- 完成モバイルは微風で常時動いているため、自然な動きにより自然とのコミュニケーションを感じる商品となっている。
- 自然の木製品が身近にあることにより、木の持つ温もり、香り、素朴さ、優しさ、安らぎ等を感じ、癒される効果がある。
- 2007 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞 優秀賞受賞
2007 T A S Kものづくり大賞 優秀賞受賞

4. まとめ

経木は古くから日本の食文化の中で使われてきた日本固有の伝統的な包装材料である。しかし、残念ながら長い歴史の中でもそのほとんどは消耗品として受け継がれてきた。本開発商品は従来の用途からは全く異なった視点で商品開発を行い、経木に新しくタイムリーな商品展開を企画してみた。幅広い消費者に支持される商品にするため、今後も最終の販売まで企画支援の強化を図りたい。

*1)城東支所, *2)榊木具定商店